

○ 川上公代 松本知映

(神戸女大 神戸女大・大学院)

目的 肥満体の女性に適した和服の身幅寸法（後幅・前幅・おくみ幅等）は、どのように設定すればよいのかを知る目的で実験を行った。

方法 従来から用いられている寸法で製作した和服と、着用者の体型にあった新しく考案した寸法で製作した和服を用いて、着用実験を行った。そしてブラッドレーの方法により着心地を調べた。また両者について着くずれについても実験を行った。

結果 肥満体の人には、次のような割り出し方で身幅寸法を設定するのがよい。

- 1、先ず打ちあわせ分も含めた総身幅寸法①を腰囲+腰囲÷2と設定する。（したがって半身幅寸法②は、①÷2）
- 2、後幅③は、腰骨の位置が脇より5～6cm前寄りにあると考え腰囲÷4+（5～6cm）
- 3、前幅とおくみ幅は、②-③の寸法を黄金分割比により該当させる。
- 4、おくみ幅④は、（②-③）÷2，63となる。
- 5、前幅は、④×1，63である。